

ふれあい意見交換会

日 時 令和5年11月10日

午後7時～8時47分

場 所 中央公民館

○浜中議会運営委員会委員長 皆さん、こんばんは。時間となりましたので開会させていただきます。本日司会を務めさせていただきます、議会運営委員長を拝命しております、浜中と言います。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、この「ふれあい意見交換会」が、コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となりました。この町民との「ふれあい意見交換会」が、このように開催でき、皆さんと直接お会いし、お話ができることを心から嬉しく思っております。この「ふれあい意見交換会」は町議会が、皆さんの声に真摯に耳を傾け、町の発展と幸福を追求するための貴重な機会でございます。私達の活動は皆さんの声なしには成り立ちません。だからこそ、このような「ふれあい意見交換会」が重要であり、私達にとっても大切な場となっております。皆さんのご意見やご要望をお聞きし、それを議会で真剣に検討し、議論し、実現に向けた努力を続けていきたいと考えております。

この「ふれあい意見交換会」では、参加していただいた皆さんの全ての方の顔が見える形の机の配置といたしました。これまでは縦に横にですか、対面式みたいな形で皆さんの声が参加していただいた顔が見えにくい形となっていましたので、こういった配置にさせていただきました。皆さん同士の交流も大切にしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いします。お気軽にご意見やご要望をお伝えください。ありがとうございます。

なお、議会だより、またケーブルテレビ等で写真動画等を撮って、後ほど掲載することもありますのでご了解、ご協力をお願いしたいと思います。

そうしますと、開催にあたり河田議長より挨拶をお願いします。

○河田議長 皆さん、こんばんは。5月より湯梨浜町議会議長を拝命しております、河田でございます。どうぞよろしく願いいたします。本日は「ふれあい意見交換会」ということでご案内しましたところ、多くの方にご出席いただきまして誠にありがとうございます。新聞にも出ておりましたが、インフルエンザが大流行しております。また、家の周りを見ますと、カメムシがすごい異常発生をしております、もう本当にびっくりするぐらい家に飛んできておるような状況でございます。

今、議会運営委員長からも説明がございましたが、3年ぶりの意見交換会の開催ということになります。流れるには従来と同じような流れとなりますが、少し目先を変えようということで、この意見交換会の名前もですね、今までは「住民と議会との意見交換会」ということにしておりましたが、ちょっと柔らかくということで「ふれあい意見交換会」ということにさせていただきました。

それから座席の方もですね、今委員長の方から説明ございましたように対面方式でしたけど、こうやって丸くなって、みんなが思ってることを伝えあったら、言っていたらというような形で、ちょっと目先を変えた座席の配置ということにさせていただきました。また来年以降は、内容についても皆さんになるべくご出席していただきやすいような形をとっていきいたいというようなことで、議会の中でも検討を進めております。今回は3年ぶりの開催ということで従来の流れをとりまして、進行は進めさせていただきますので、どうぞご了承お願いいたします。

限られた時間でございます。皆さん普段感じておられること、思っておられることございましたら、遠慮なく発言いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、ご挨拶と代えさせていただきます。本日は大変お疲れ様でございます。

○**浜中議会運営委員会委員長** そうしますと、本日欠席しとる議員もおります。所用があり欠席する議員もおりますけど、今日がこういった意見交換会が初めての議員もおりますので、簡単に自己紹介をしたいと思います。議長からやってもらえますか。

○**河田議長** 改めまして議長の河田でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○**磯江副議長** こんばんは。副議長の磯江です。どうぞよろしくお願いいたします。

○**松岡総務産業常任委員会委員長** 皆さんこんばんは。総務産業常任委員長を拝命しております、松岡でございます。よろしくお願いいたします。

○**米田教育民生常任委員会委員長** 皆さんこんばんは。今日たくさん参加いただきまして、誠にありがとうございます。教育民生常任委員長を拝命しています、米田と申します。よろしくお願いいたします。

○**中森議会広報常任委員会委員長** こんばんは。議会広報常任委員長をしております、中森圭二郎です。初めての参加となりますし、主催側として頑張りたいと思っておりますので、今日はよろしくお願いいたします。

○信原総務産業常任委員会副委員長 こんばんは。総務産業常任委員会の副委員長をさせてもらっております、信原といいます。よろしくお願いします。

○小川議会広報常任委員会副委員長 皆さんこんばんは。議会広報常任副委員長の小川遊と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○浜中議会運営委員会委員長 皆さんこんばんは。先ほども言いましたけど、議会運営委員会委員長を拝命しております、浜中です。どうぞよろしくお願いします。

○寺地議会運営委員会副委員長 こんばんは。右の方の副委員長をしております、寺地でございます。どうぞよろしくお願いします。

○浜中議会運営委員会委員長 そうしますと、3番の日程報告に移りたいと思います。日程報告に関しては、議会運営委員会副委員長の寺地が報告いたします。

○寺地議会運営委員会副委員長 それでは日程の説明を行いたいと思いますが、皆様方には思わぬ雨で大変だと思いますが、大変ありがとうございます。

それでは本日の日程報告等を行いたいと思いますが、まず資料の確認でございます。お手元に配付してございますのは、本日の交換会のリーフレット。それから委員会報告に使用します資料。また議会行政に対します、意見、提言の用紙。町議会の活動状況をまとめた概要の4部を配付をしております。不足がありましたら、お知らせをいただきたいと思います。

議会、行政に対します意見、提言の用紙につきましては、本日、質問発言等できなかった事項、意見等があらうかと思えます。ご記入いただきまして、お帰りの際に受付に箱を設けておりますので、そちらに入れていただければと思います。本日もご記入できなかった方につきましては、後日でも議会事務局に届けていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたしますを申し上げます。

また、いただいたご意見等は役場担当課に確認の上、回答を付して議会広報等でご紹介をさせていただくことがございますので、ご了解をお願い申し上げたいと思えます。

本日この後の日程でございますが、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会、議会広報常任委員会からそれぞれ10分程度、資料によりまして、委員会報告を行います。終わりましたら、これにつきましてはまとめて皆さんから質問、ご意見等をお受けしたいと思っております。進行につきましては、磯江副議長が行います。またその後、その他皆様が日頃考えておられます議会、行政への意見提言など、意見交換を予定しております。この件の進行につきましては、浜中議会運営委員会が行います。

本日の会の終了時間を20時30分を目途に進めさせていただきますが、柔軟に対処していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上です。

議題（1）議会報告について

○浜中議会運営委員会委員長 そうしますと4番の議会報告の方に移りたいと思っております。総務産業常任委員会、教育民生常任委員会、議会広報常任委員会より順番に報告をいたします。初めに総務産業常任委員会よりお願いします。

①総務産業常任委員会

○松岡総務産業常任委員会委員長 それでは、会議資料を見ていただきたいと思っております。この赤いのがついている会議資料ですね、これに基づいて沿って説明をさせていただきます。

それで総務産業常任委員会は、町道泊中央線の災害復興復旧工事について、それから松崎地区内内水対策事業について、旧北溟中学校跡地利用についてということで、各地区の話題を報告させていただきたいと思っております。

最初に町道泊中央線災害復旧事業でございます。会議資料の1ページを見ていただきたいと思っております。場所は泊中央線に面する甲亀山南向きの斜面で、周辺に中央公民館の泊分館、それから町社会福祉協議会、あさひこども園があります。

令和3年7月の七夕豪雨で土砂崩れが発生しまして、当初災害復旧事業で対応を考慮しておりましたが、地滑りが起きているということで、地滑り対策の事業で向かうこととなり、調査を行ってきたところであります。しかし、今年の7月に設置した伸縮計が動いたことから、さらに調査が必要となっており、工事着手が遅れております。今後調査結果を待って、6年度から本工事に着手予定でございます。

施工概要の中から主なところは、左側の計画平面図、そしてその横右上の標準断面図を見ていただきたいと思っております。平面図上にあります、扇形の赤の実線に描かれているものが、地滑り内の地下水の上昇を抑制する、水抜き横ボーリング暗渠排水であります。標準法断面では、中心から右に伸びている赤い線がそれに該当いたします。次に平面図で赤の小さな丸が27ヶ所、真ん中付近にあります。これが、地滑りの変動を抑えるための鋼管杭でございます。標準断面図では赤い太い縦線で示してあります。それから平面図で、赤線の網目で表示しているところが、平面の緩みを抑えるための、のり面工であります。なお、7月13日に設置した伸縮計。これは二重丸の

ところでございますが、表面上の土砂の動きがあったので、災害査定の前に国との協議を行うこととしておりまして、現在原因を解明中でございます。その結果をもって、今後再度協議や災害査定に臨む予定であるということです。

今後のスケジュールは、工事実施は令和6年4月から始まれば、6年度中に完成する見込みであります。それでこの議案の審議の途中での内容は、平成10年の地滑り時の対策工法は、鋼管杭と違うぐらいで、あまり変わらないのではないかという質問が出ておりましたが、鋼管杭を27本、支持層までしっかり打ち込むので滑りを止めることになる。また、横ボーリングで土中の排水がきちんとできるということは、前回との大きな工法の違いであるという説明がありました。

それから次に、松崎地区内水対策事業についてでございます。これは資料の2ページ、3ページ、4ページでございます。新町川ポンプ場についてです。

2ページが設置場所でございますが、湯梨浜町の旭「ばにーに」の横であります。新町川に県が水門を設置し、町がポンプ場を設置するものであります。工事着工に当たっては、作業スペースなどの関係もあり、県の水門工事と同時着工ができないため、県事業を先に実施するというものであります。

それから3ページが、内水排水の仕組みですが、大雨などの時に水位が上昇した場合に、新町川の水門を閉め、水門の居住区側の水をポンプで東郷池に排水するというものでございます。ポンプ排水により新町川の水位が下がると、ポンプは止まり、水門は東郷池の水位が下がるまで閉めておきます。東郷池の水位が75センチになると、ポンプ自体稼働します。85センチになれば2台稼働するというものでございます。

4ページが整備スケジュールでございますが、世界的な半導体不足が続いていることから、これは6月から10月までの出水期は工事を控えるということから、完成は7年度末になる見込みでございます。そして議案審議中のやり取りでございますが、工事期間は2年ぐらいかかるけれども、その間に出水期は必ず来ると。仮設水路のことは一つも書いてないんだけど、どうするんだという質問が出ておまして、新町川は来年度県事業で、町のポンプ場の予定地に仮設の水路を作るんだ、ただ出水期になると元に戻すということでありまして、そこに仮設でポンプをつけて吐き出すというようなことは考えていないということでありました。

それから最後に旧北溟中学校の跡地利用についてでございます。資料は5ページから9ページでございます。ここでは、旧北溟中学校跡地利用に係る民間提案募集要領について説明をさせていただきます。

最初に9ページの旧北溟中の平面図を見ていただきたいと思います。跡地中央部にピンク色の南北の東西の町道を整備することにしております。それから茶色は歩道を示して、歩道の整備を表しております。今回の利用募集に関する区画につきましては、前の野球場や陸上競技場があった①西側。それからプールのあった②北溟体育館北側、そして③旧羽合体育館の3区画となっております。以下募集要領の内容を説明しますが、そのままこのページを見ていただきたいと思います。詳細は後ほど確認をお願いいたします。対象用地は、購入または賃貸借のいずれかですが、賃貸借の場合の期間は10年以上とし、最長40年です。売買基準価格は①の旧北溟中用地の西側は、平米当たり単価1万2,600円、そして②の北溟体育館北側、③の旧羽合体育館が1万円です。貸付については、①の西側が年額平米当たり516円、そして②の北溟体育館側、そして③旧羽合体育館側が408円でございます。なお①の西側は区画が大きいということで、この区画については、南北で均等に2等分した内、1区画を使うという提案も可能ということでございます。

今後のスケジュールは、一応期限は令和6年1月25日といたしまして、それ以降審査等を行い、6月の議会承認、契約の締結を目指して手続きを進めていきたいというものでございます。議案審議中の内容につきましては、跡地への誘致をどうやって進めていくのか分からないという話が出ておりまして、1回目の募集をやってみて、町側が期待する企業が最終的に来なかったということから、県のいろいろな事務所で情報を捕まえて、こちらが乗り込んでいくことを考えていると。具体的に会社名は出せないですけども、ある情報を耳にしているんで、これから接触していきたいという話でございました。それから場所的に優れた物件だと思うんで、焦って埋め込むようなことをしなくてもいいのではないかという話が出ておりまして、町の方から県産業振興機構の理事長と話をしたときに、これだけの大きさならじっくりと考えて関わる方が良くはないかという助言があり、ずっとそれを頭に置いてやっているという答弁がありました。以上でございます。

②教育民生常任委員会

○米田教育民生常任委員会委員長 続きまして教育民生常任委員会からの報告をいたします。名前のとおり、教育と福祉関係のことを所管している常任委員会です。

今回報告するのがこの資料の10ページと、11ページから13ページまでですけど、2点報告させていただきます。

1点目が10ページ、みんなのげんき館事業経過と課題についてということです。皆さんみんなのげんき館ってご存じでしょうか。昨年、中央公民館泊分館が新しくできまして、その一角にトレーニングルームって言うんですかね、そういう形でみんなのげんき館という、皆さんがトレーニングしていただく施設ができたんですけど、これは公民館にあるげんき館とは別に、新たにフレイル対策に特化した、みんなのげんき館を作ろうということで話が出たものです。

ここに出してるのが、令和5年3月定例議会予算特別委員会の附帯決議ということで、その部分を載せておるんですけど、3月に予算について執行部から提案がありまして、それに対してまた予算に特化した特別委員会を作って、予算についていろいろ議論するんですけど、その中でこのみんなのげんき館の予算として、6,500万円余りの予算が出ました。

議員から泊のほうにできたばかりで、またこの予算がつくのがどうということでしょうかと質問があった中で、フレイル対策として、また新たに作るっていうことだったんですけど、私がそのときには、教育民生常任委員ではなかったんですけど、その場で教育民生常任委員会のメンバーから、自分たちもこの話を聞いてないっていうことで、これはどうということだということていろいろ話が出まして、結局ここに附帯決議っていうことで、予算は承認をしたんですけど、みんなのげんき館については、最後の方にあるんですけど、「開設場所として「保健福祉センターつわぶき荘」内を予定しており、フレイル対策を柱とする社会福祉協議会を含めた構想と認められるが、この経過について議会と十分な協議がなく唐突に計画され予算計上されたものである。この事業構想については、議会と議論を深め細部に渡って段階を踏んで町民に対しても納得がいく説明ができる状態になるまで、再検討を含め予算の執行を見送るべきだと判断した。予算執行については、この附帯決議を真摯に受け止め「高齢者トレーニング施設整備」に取り組むように求めるものである。」ということで、一旦予算の方は通したんですけど、しっかり説明をして、それに納得する中で作るようになっていうことで、そういうことで話が一旦終わったんですけど、今回この前の9月

の定例会の中で、今度はこの予算について、一旦白紙に戻すということが執行部からありました。

その部分はここにちょっと簡単に、この前の9月の議会広報の中で載せておいた部分をここに出してるんですけど、新たなみんなのげんき館事業は再検討という見出しで、社会福祉協議会のつわがき荘の空き部屋を改修して、高齢者のフレイル対策を進める計画であった。しかし、交付金などの財源確保が困難で、本年度の事業は無理だと判断したということで、執行部の方から説明がありました。元々、予算に対して凍結するような形で議会の方はしっかり練ってから出してくれということによっておいたのが、今回は結局、その財源を確保ができないということで白紙に戻すということになりました。

その中で、これまでは公民館でやっておいたので、担当課の方は、生涯学習・人権推進課が担当しておったんですけど、議会の中では、フレイル対策ってことであるから、そういうところから離れて、また新たに担当課もどこが進めるんかということも含めて、もう一度練り直すようになっていて話を持ってきておるんですけど、教育長の方からも、その辺は全部白紙に戻して、新たにその辺のところから検討するってことを伺っております。

現在のところまだ白紙のままです。これからどうなるかっていうことは分かっておりません。この泊分館にあるみんなのげんき館なんですけど、先ほど申し上げましたように去年できてから1年半ぐらい経つんですけど、実際に利用される方は、大体1日平均すると14名ぐらいです。すごく利用が少ないということもあります。

町としても、たくさん利用していただくようになって、運動支援員の方をつけたりとか、あと外部の方も来ていただいて、教室をやったりとかがいろいろ努力はしているんですけど、なかなか利用が進まないような状況であります。以上、みんなのげんき館については、報告を終わります。

続いての報告が11ページからですけれど、放課後児童クラブ民間委託による改善と課題についてということです。

放課後児童クラブの運営状況ですが、令和4年度から運営を民間事業に委託し、放課後及び土曜日に、昼間保護者のいない家庭の児童の預かりを実施しました。児童が安心して過ごせる居場所を安定的に提供することができ、保護者の子育てと仕事の両立を支援できたと考えておりますということで、これ執行部のほうからですけれど、

一昨年の末に、担当課からこの放課後児童クラブの支援員さんが、高齢でやめる方があつたりとかということで、確保が難しいということで、運営ができないような状況になるということで、最終的には民間に委託をしようということで提案がありました。

隣の北栄町が進んでおったんですけれど、この次の12ページにあるんですけれど、「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」。この会社の実績がありますんで、ここに最初から決めたわけじゃなくて、コンペしてここともう1ヶ所出たんですけれど、このシダックスのほうが実績もあり、安定した運営ができるということで選ばれております。

この放課後児童クラブの表があるんですけれど、現在湯梨浜町には、羽合第1、これは小学校の中にあるところです。それと、その隣のアロハホールに新しくできた羽合第2と、東郷第1と東郷第2、それと泊と。5ヶ所、放課後児童クラブがあります。1ヶ所1部屋40名ぐらいっていうことをめどに運営することにはしておるんですけど、希望される方がたくさんありまして、だいぶたくさん、予定より多く受け入れているような状況であります。

委託費は、表の右から2番目のところですね、この5ヶ所で年間5,220万円の委託費がかかっております。

成果および評価ということですが、民間事業者への委託により、支援員の確保状況が改善し、運営の安定化が図られました。これまで手薄だった支援員研修の実施や、保護者へのお便り発行など、サービス向上の取り組みにも着手しており、安心して児童が過ごせる居場所の提供に向け、体制が充実したものと考えております、ということですが。

委託されたシダックスだけではなくて、地域の方とも交流があり、今までよりすごく状況が良くなったということで、次の12ページ、13ページにあるんですけれど、このシダックスが保護者にアンケートを出しまして、その一部を載せておるんですけど、13ページのところですね。総合的に見てどのように感じていらっしゃいますかっていうアンケートでは、49%の方が大変満足で、満足っていうのが44%、どちらとも言えない、不満というのがちょっとあるんですけれど、大変満足されてるっていう状況が、このアンケートでも分かると思います。

ただ、11ページの3番のところにあるんですけど、課題ですね。施設規模に対して利用児童数が多く、過密な状況にあるクラブへの対応について、施設の拡充や申し

込み制限などの方法を課内で検討しましたが、具体的な対策の実施に至っていません。児童の安全確保や現場の支援員の負担軽減の面からも、適正規模での運営が必要であり、何らかの対策を講じる必要があると考えております、ということが執行部からあったんですけど、何らかの対策ってということで、一つには年齢制限って言うんですかね、一般的には割と4年生までとかっていうような受け入れのところも多いんですけど、湯梨浜町は、1年生から6年生まで皆さんを受け入れるってことで、申し込みがあったら基本的には皆さん全部受け入れるってというような状況に今あります。

それをどうするかってことが、これからなるんですけど、この対策をいつ頃講じるんでしょうかということで、議会から尋ねたところですけど、今はまだすぐすぐ対策を講じなくてはいけないぐらい大変なところじゃないので、じっくりと考えていきたいというような回答をいただいているところで、これからこの辺について、しっかり議論していきたいと思っております。報告は以上であります。ありがとうございました。

③議会広報常任委員会

○中森議会広報常任委員会委員長 そうしましたら、議会広報常任委員会より報告をさせていただきます。資料の14ページの緑の四角で囲っているパワーポイントがあると思うんですが、そちらを使って説明していきたいと思えます。

まず議会広報常任委員会っていうのはどういう目的のところかといいますと、ここに書かれているとおり、主に議会だよりの編集や、広報の実施に関することについて議長を除く議員で構成されるメンバーとなっております。

3番、4番に、議員の顔写真を載せてますけども、こういったメンバーで皆さんのご自宅に送られてくる議会だよりなども、このメンバーで編集しております。今回16ページの目次っていうところを見ていただくと、議会だよりクリニック報告と、議会だよりの改善点1と改善点2というところと、最後に視察の報告をさせていただいたらと思えます。

最初に議会だよりのクリニック報告っていうのはなんぞやということなんですけれど、年に1回、町村議会が集まって有識者によって、その議会だよりを評価していただく行事があります。そこで有識者の方に改善点っていうのをアドバイスいただいたりとか、そういうのを毎年しております。今年もそれがあまして、湯梨浜町も議会

だよりというものをそのクリニックさんに出させていただいて、評価もありましたし指摘された面もありますので、真摯にそれを改善していけたらなというふうに思っております。

良い点と言われたのは、かなり湯梨浜町の議会も、広報作りには力を入れて見出しだったり、小見出しだったり、本文も要点が整理されて読みやすいという評価を受けております。一方で住民の声を取り上げるってということに関しては、他の自治体もまだまだなところはありますが、先進的な議会のところはそういったものを紙面にもしっかり表現されているので、今後湯梨浜町議会としては、普段の議会活動もそうなんですけども、こういう議会だよりにもそういうことを取り組んでいく必要があるのではというふうに考えております。

それを受けて、ちょっと前々回の議会だよりからなんですけども、町民インタビューってものを改善しようということになりまして、18ページの上のパワーポイントを見てもらえたらと思うんですけども、町民インタビューで皆さん議会だより見られてどこにあるか分かりますかね。一番裏のところにあるんですけども、だいぶ前の議会だよりだと直接インタビューして、議員がそれを文字起こしてっていうふうなことをしてたんですけど、最近ちょっとそれができてなくて、原稿を作ってもらって、400字とか500字ぐらいで作っていただくことが多かったんですけども、大体町民インタビューに載るような方というのは住民活動をされていたりとかして、町に資する行動されているので、せっかくだったら議員が足を運んで取材して、写真も撮ってることができたらなというふうに思っています、それが6月定例会の議会だよりからやっております。

表紙はこのときが「くぶくぶ」さんっていう、子育てとかそういう関係の活動をされている団体の方にインタビューさせていただいたんですけども、その様子を表紙の写真に使わせてもらって、後ろはその活動されてる方のインタビューというのを載せさせていただきました。結構季節柄、こども園の運動会とか、そういう写真が多いんですけど、それはそれですごく微笑ましい写真があるんですけども、せっくなのでそういう活動をちょっとプッシュするような形で、議会だよりも使ってもらえたらなと思って、こういう形もとらせていただいています。コメントも私達がインタビューを実際にしてますので、少し町政に踏み込んだコメントもしていただけるようになったんじゃないかなと感じておりますので、今後もこういう形式をとっていきたいと思いますので、議会だよりをそういう目線で見ただけでよかったらと思います。

改善点のその2ってところで、委員会動画の「YouTube化」っていうことなんですけども、実は皆さん委員会っていうのが議会の中に教民と総産と議会広報っていう常任委員会があるんですけれども、その委員会の協議している内容っていうのが、今もうちょっと令和4年の9月で止まってるんですけども、議会のホームページにネット上に上がっています。ただそれがいろいろ問題がありまして、19ページの上のところを見ていただけるといいんですけれども、見ている方から、スマホなどでは動画が再生できないとかちょっと古い形式の動画状態になってまして、また動画の公開が遅くて、情報が委員会が行われてから3ヶ月とか4ヶ月とか、ちょっと公開までの時間がすごいかかるということで、結局見てどうするんだっていうご意見もいただいていた。さらにこれは議員からの指摘なんですけども、動画のアップロードの事務手続きもかなり煩雑で課をまたぐので、決裁だったりとかアップロードの事務手続きだったりもすごく町職員の負担になってるっていうことで、ここを改善できたらっていうところを、下の委員会動画の「YouTube化」っていうところで、ちょっと急ぎで今日見れるような段階にさせていただいたんですけども、今後の最新の委員会の常任委員会でされている協議っていうのを「YouTube」に、当分は録画配信にはなると思うんですけれども、なるべくあんまり時差がないような形で見ていただけたらと思っております。

委員会ってのはやはり、議会本議会もすごく大事な会ではありますけれども、こういう細かい事案に対して執行部と委員会が議論をしているところも見れるものなので、しっかりそこは公開していくっていうところを努めていけたらなというふうに思っています。

最後に20ページに、本当につい最近視察をしてきましたので、その報告を最後にさせていただけたらと思います。20ページの下のところの町田市議会という東京の市の自治体なんですけども、そこが議会が高校生と議員の意見交換会っていうのをしております。

この目的は、議会に関心を持つ若者を増やすっていうところで、今日みたいに周りを囲むような形のワークショップ形式で、高校生と議員が会話できたりとか、あと参加者を募るために高校に直接声をかけたりとかしております。

ポイントとしてはやはり湯梨浜も若者会議っていうのをこの9月、10月からやっていますけれども、今回町田市議会のイベントっていうのは政策提言というよりはどちらかと言うと、本当に議員何してるのかと、議員って話を聞いてくれるのかみたい

な、距離を縮めるためのイベントとしてやってるんだっていうところがありまして、国会ないしそういう議員と町民の方の距離を縮めるっていうところでは、湯梨浜も何とかそういうイベントとしてやっていくコンテンツを作っていければいいんじゃないかなというふうに思って、ちょっと報告とさせていただいてますね。

21ページ最後に、東村山市議会っていうところに行ってきました。こちらがまさに今日やっているその議会報告についての視察でした。今回の報告会もそうなんですけども、前半は議会報告して、後半は意見交換っていうところでした。東村山市議会はすごく熱心に議会報告をされてるんですけども、工夫もされていましてグループワークだったりとか、あと外部ファシリテーターで近隣の議長さん呼んで、司会とかファシリテーションを頼んだりとかして、いろいろ住民の方が飽きないように試行錯誤されてるというところがすごく印象的でした。

あとオンライン参加っていうのも、この中でどうやってその報告会というのを続けていくかっていうところで、「Zoom」だったり「YouTube」だったり、いろんなやり方で見てもらう、報告を聞いてもらうっていうことを取り組まれていました。

そうするとどういう方が来るのかっていうと、少し興味があるぐらいの方でも、議員の報告を聞いたりとか、あと障がいだったりとかちょっと仕事だったりとかで来づらいという方も、参加しやすくなったってコメントをいただきましたので、今回は全く湯梨浜町の報告会はオンラインではないんですけども、そういうところも引き続き、早めの段階でそういうオンラインだったりとか、そういうことも議会で検討して進めていければと思っております。これをもちまして、議会本常任委員会の報告とさせていただきます。

○浜中議会運営委員会委員長 司会のほう、それでは副議長よろしくお願いします。

○磯江副議長 今ずっと3つの常任委員長から、議会が特に総務産業常任委員会を3つの件、そして教育民生が2つ、そして議会広報という形で今活動していることを言っていました。全国で1,718自治体があるわけですけども、どの自治体も、議会と住民とちょっと距離がありすぎるんじゃないかということで、議員になり手がないとか、女性がやっぱり出にくいんじゃないかとか、いろんな問題を今抱えています。そういった面で、私達もやっぱり住民の間に入って、コロナで少しできなかったんですけども、皆さんの意見を直接聞くことからやっぱり始めようということで、こういう形で今年スタートいたしました。

今3つの常任委員長が報告っていう形でいただきましたけども、それに対して皆さんの方からここもう少し説明してよとか、なぜこういうことをしたのとか、そういう意見がございましたら、ちょっとこの場所でこの時間で、そういうお話を進めたいと思いますので、ご意見のある方は手を挙げていただいて、ちょっとお名前もいただけますでしょうか。記録を取りたいと思いますのでよろしくお願いします。

どうでしょうか、皆さんのほうで。

○住民 新町川のポンプの件ですけども、このポンプを動かすときというのは、台風だったり、大雨が降ったりというときにはなると思うんですけども、そのときは東郷池の水位も当然上がってると思うんですけども、そのときに水門を閉め切って、排水中に停電になったらどうするんですか。

○磯江副議長 停電になったらどうするかということですね。

○住民 はい。そういう対策は何かあるんでしょうか。自家発電設備の用意とかそういうものはあるんでしょうか。

○松岡総務産業常任委員会委員長 はい、その点については、今言われたとおりです。当然対策も取っておりまして自家発電設備で動かすということですね。

○住民 はい、分かりました。

○磯江副議長 その他どうでしょうか。気楽に何でもお話いただけたらというふうに思います。

○住民 北溟中学校の跡地のことですけど、初め1回があって2回目今度ですけど、たじり保育所はね、令和7年4月ですか、竣工するっていうことはもう周知のとおりですけども、その場所がね、ここはどこにあるかってのは、もう決まってるんじゃないかなと思うんですけど、それを教えていただきたいなと思います。

○松岡総務産業常任委員会委員長 はい。資料の9ページを開いていただくと右側の右下ところですね、建物ができるようになってますけど、ここがたじりこども園の予定地です。

○住民 この黒で囲ったところのここですね、たじりがね、もう決定でね。ということで、もう1件は放課後児童クラブのことですけど、民間委託になってシダックスさんになって、とても良い面はよく聞きます。良かったなっていう意見はたくさん聞きますけれども、やっぱり支援員さん不足っていうのはやっぱりシダックスさんの一番大変なのは長期、夏休み冬休みのときの支援員さんの確保が、とても大変なようでしたよね。

だから全く解消されたわけではなくって、とてもいろんなアルバイトさんとか見つけて、大騒ぎして人を探しておられるっていうのがあるし、あと一番あれなのは、やっぱり東郷でも第2放課後児童クラブの施設設備が良くないんですよね。私も時々お邪魔するんですけど、夏の暑いときに交流事業をしましたけど、冷房が効かないんですよね。猛暑の中に、とてもとてもやっぱり気密が悪いし、クーラーが効かないという状況ですごい暑さの中をね、1日子どもたちは夏休みの朝から晩までおるわけですね。やっぱりこの環境は何とかしてあげないけんなってのは、特にやっぱり施設設備ですね、放課後第2クラブはね、まだ何とか少しいい具合にならないかなってことを支援員さんもおっしゃられてるし、保護者の方も言うておられました。そういう環境があるってこと。その中で子どもたちは、夏休みなんか大変です。朝から晩まで暑い中。畳の部屋もないですしね。やっぱりちょっとそういう環境整備が必要かなって思っております。

それとあとは、運営は少しはずつ良くなってきてるかなって感じはあるけどやっぱりこれからの課題でね、地域との関わりっていうのがシダックスさんとの連携ですけどね、やっぱりそこら辺で北栄町さんみたいにね、放課後児童クラブの取り組みで、地域の高齢者の方が見守ってあげるっていうか連携していろんな活動されてるっていうような仕組み作りができたらいいなって、いつも思っておりますけど、これはシダックスさんとの繋がりの中で、していきたいってこともありますけど、よろしく願いします。

○米田教育民生常任委員会委員長 はい、ありがとうございます。最初の3点ありましたけれど、民間委託になったから、すぐ支援員の方を確保できるかって簡単なものではないです。

また、議会の方でも、この先ほど説明した年間5,000万円あたりぐらいの委託費と、それだけお金使うんだったら、直営でもできるんじゃないかっていうような意見もあったんですけど、やはり民間であるからよってのノウハウって言うんですかね。トップの方が元学校の先生なので、そういう方の教え子とか、いろんな方との繋がりの中で、確保されてきてはおるんですけど、〇〇さんから指摘があったように、そんなに簡単なものではないんで、これからもいろんなところと連携しながらっていうんですかね、そういうところで進めていきたいと思えます。

施設のほう、東郷第2は、元花見小学校の施設を使ってやってるもので、ある面、仮ではないんですけど、ちょっと間借りした感じの、他の施設と比べるとどうして

もその部分では劣ってる部分があるかなということで、この辺についてはまた議論をしていきたいなと思います。

3点目の部分が暑い分をですね。シダックスさんとも、いろいろと地域の方とやっていうことは、元々意識があったわけですし、シダックスの本社の方からは、常に季節ごとにいろんな行事をやるようなことで、物が送られてきたりとかっていうことで工夫はされておるんですけど、今お話あったように、一層、地域の方と連携しながらやるってことは、また委員会の方としても、シダックスにちょっと話をしてみたいなと思います。ありがとうございました。

○磯江副議長 はい、どうぞ。

○住民 委員会報告いただいた中に関するのと、それ以外も含めてちょっと3点ほど、質問も含めてさせていただきたいと思います。

まず1点目の委員会報告の関係なんですけど、みんなのげんき館の件なんですけども、これが1日平均の利用者が14名ということで先ほど説明がありました。ちょっと少ないかなって私も思いますけども、この少ない理由というか、要因については、どのように考えているのかなというのをちょっとお聞きしたいのと、関連してその理由が仮に、いわゆる施設の利用しやすさというか、楽しみがないとか、そういうような面の話なのか、あるいは高齢者が多くなってることなので、なかなか行こうと思っても交通手段というかですね、自分が運転できないから行けないんだ、というような理由があるのかも分かりませんが、ちょっと何が言いたかったかっていうのは、いわゆるこういった事業は非常にいいことだと私も思うんですが、ハードの設備を良くするだけじゃなくて、どう運営していくのかと。本当に使ってもらうための条件整備というか、そういうところを検討されてると思うんですけども、その辺の、仮にもし交通手段云々も含めての話があるのであれば、そういうような交通手段の確保といえますか、そういったことも含めて検討されてはどうかというのがまず1点目です。

それから2点目は、先ほど松崎地区の内水面对策事業の委員会報告がありましたけども、直接それとは関係はないんですけども、県のほうで田んぼダムを推進されてますよね。

田んぼの嵩上げをして水を貯めて、いわゆる洪水等ですね、水が川に流れ込む時間を遅らせて、対策っていうか避難措置とかができるような時間を稼ぐんだということで進められているんですけども。

実はその中で、単にその田んぼの水の落ちる堰だけを上げれば済む問題ではなくって、今は田んぼが非常に痩せ細ってきてまして、管理が行き届いてない農家が、なかなか高齢化して手が回らないし、兼業農家が増えて畦がもうかなり弱くなって、仮に嵩上げをすると畦が壊れてしまって崩れる可能性があるということで、本当にそれをやろうと思うと畦をまずちょっと直してかからないとできないと。水を増やすわけにいかないということがあって。畦を直すとなるとかなりの金額、工事費用がかかる。おそらくそれには何らかの補助金があると思うんですけども、畦を直すこと自体がかなりの大きな工事になりますので、なかなか今の農業収入だけでは成り立たない状況の中では、その仮に〇分の1負担とかなっても、なかなかそこまで田んぼダムのためにとってはおかしいですけども、そこまで本気でやろうかというところはなかなかいかないということで、実質的になかなか田んぼダムというのは進まないんじゃないかなと思っております。地域の部落総会でもそういうことを出したんですが、やっぱり皆さんそのことを言ってましてですね。仮に畦の補強まで見てもらえるんならもちろん賛成なんだけど、なかなかそういう自前でやるとなるとそこまではようしないよということが出てます。

一方で私のところなんか、いわゆる農地水の組織を作って活動してるんですけども、田んぼダムを取り組まない、そういう組織には補助金をカットされて、今3割カットぐらいで、年々カット率が増えてきてですね。だからその農地を維持してやろうとしてる組織、黙ってるつもりなんですけどもやってる中で、田んぼダムに協力しないところは補助金をちょっとカットするという形で、財源的な問題もあってのことだと思ってるんですけども。そんなこともあるので、ちょっとそれもやり方としてどうかなってというようなことの見解も出たりしておりましたので、その辺の田んぼダムの防災対策としては必要性は分かる部分もあるんですけども、ちょっと進めていく上での体制ということ、少し検討していただけないかなってのが2点目です。

からもう1点最後にですね。梨農家の方がどんどん今廃業してますよね。それで、ここ数年ますますそれが加速度的に梨農家が廃業してまして、田畑の〇〇さんもおっしゃってたんですけども、その梨農家のなんていうかな本当に高齢化して、ちょっと傾斜地であったり車でなかなか行きにくかったり、不便なところ梨農家というのは、なかなか後やってくれる人もいないし、難しい部分も確かにあるなと思ってるんですけども。もうどんどん梨の木を切っちゃうんですよね。切らないと周りに迷惑かかり

ますから。切ると、次の梨が本当で出荷できるまでにしようと思うと、5年、10年かけないと、梨が出荷できるようになれないです。

そうすると一旦切ってしまったら後で例えば梨農家をやりたいて人が仮に出てきても、その場所でやろうと思っても木を植えてかかってくると、実際その方が自立して収入を得るには5年、10年先じゃないと収入を得られないので、なかなかそこまでどうやって生活するんだっていうことがあるので、できればある程度、優良な梨園という栽培管理しやすい道路事情とか、ある程度平地にあるような梨園で、もうちょっとようやらんというような方の情報をですね、個人情報になるんで分かりませんが、ある程度集めておいて、ちょっと期間を設けながら、その利用者、跡地利用に興味のある方とうまくマッチングさせるような仕組みができれば、梨を切らずに済むし後から入れる人ももう貸してもら条件次第ですけども、ほとんど多分無償で貸すと思いますので、維持してもらえらるであれば。

そう言えば入ってすぐに収入を得られるということですね。そういうWin-Winの関係もできるかもしれませんので、何かそういうような仕組み作りというか、新規就農者を募集するのはいいんですけどやはり今あるのをうまく引き継ぐとか、いい優良資産とか優良農家のそういう梨をうまく引き継ぐような何か仕組み作りみたいなものができたらいいなと思いましたので、ちょっと長くなりましたが3点ほどです。

○磯江副議長 今3点出されましたけども、最初みんなのげんき館についてはちょっと委員長の方から。2点目たんぼを利用した治水的なものに対する今後の方針ということと、もう1つ梨農家が廃業されるけどそれをマッチングしていくようなことってというのは、これちょっと次の意見交換の場所で行っていただくということで、とりあえずこの米田議員の方から、そのげんき館のことについて。

○米田教育民生常任委員会委員長 今指摘いただいたように、1日14名ってことは、ほとんどの方がそんなに利用が少なくなっていると思われると思います。先ほど最初の説明の報告の中でちょっと触れたんですけど、町としては当初運動支援員っていうのを募集しておったんですけど、なかなか募集に手を上げる方がなくて、探して地元の若い女性の方が、専門的な資格とか持っておられないんですけど、運動支援員という形で入っていただいて、研修を受けながら対応していただいているっていうような今状況です。

あと外部のインストラクターの方に入っていて、そういう教室をやったりっ
ていうようなそういう努力はされているんですけど、去年からずっと今年になっ
ても、利用者はなかなか増えていかないということで、これはどういうことが原因かっ
ていうことは、これまた皆さん町民の方からもいろいろ意見をお聞きしながら、工夫
していかなくちゃいけない問題じゃないかなとは思っております。

あと交通手段もちょっと触れていただいたんですけど、先ほど白紙になったげん
き館は、高齢者の方が中心というかフレイル対策ってことで施設に対しては、元々予
算の中では公用車を1台購入して、それによって送迎するっていう予定でありまし
た。ですから、もし新しくフレイル対策のげんき館ができたときには、そういう送迎
っていうようなことができると思うんですけど、今のげんき館はどちらかという
と元気な方っていうかトレーニングして一層元気になっていこうという方なんで、ほと
んどの方が車で来れるんじゃないかと思っております。そういうところでよろしいで
すかね。はい、ありがとうございます。

○磯江副議長 ちょっと予定しております時間で、今は3つの常任委員会の方から報
告を受けたことに対しての皆さんの質問という形で進めさせていただきました。です
が、2つの問題を田んぼダムのことをどうするかっていう意見と、もう一つは梨農家
の廃業されているところをマッチングさせて、新規農業だけでなくやる気のある人
を継いでいくようなこともできないかという意見が出ておりますので、これの進行に
ついては議運委員長が進めさせていただきますので、常任委員会の報告についてはこ
れで終わりたいと思います。よろしくをお願いします。

(2) 意見交換について（議会、行政に対する意見、提言）

○浜中議会運営委員会委員長 そういたしますと、委員会報告が終わりまして次に皆
様が日ごろ考えておられるいろいろな町政に対して問題点だとか、提言等ありまし
たら伺いしていきたいと思っております。初めに先ほどの田んぼの分と梨園のマッチングの
件についてを議題としたいと思っております。

○河田議長 田んぼダムの話ですね。本当にこの梨園同様、田んぼもなかなか家の跡
継ぎが田んぼを作ってくれないっていう現状がありまして、町外から法人がその田ん
ぼを作りたくさん入っておられます。やっぱり大規模で経営しておられるので、な
かなか手が回っておられんのが現状で、畦に除草剤まかれるんですよね。そうすると
余計その畦が痩せ細って、ますます低くなっていくっていうような現状もあります。

担当課が産業振興課になりますので、そちらとまたちょっと確認を取りながら畦を直すのに良い補助金があるのかないのかっていう辺からちょっと確認をして、個人負担がなるべく少なく、そういった畦が補修できるような事業なり補助金等があれば活用していただきたいなという思いではあります。

現状のところ、こういった補助金があるかっていうところまでちょっと今精査してないのでお答えができないんですけど、これ持ち帰らせていただきまして、担当課とまた相談協議をして、お答えを返せばなという思いであります。

それから、梨農家の減少それから優良園の引き継ぎの件ですが、私も梨農家です。方策はあります。JAが、条件の良い梨園をやらいや梨園ということで登録をしてもらって、自分がよう作らんようになった場合、どなたか町内町外問わず作ってくださる方があれば引き継いでもらうっていうような、登録制度を設けて条件の良い梨園を園主さんとの了承によりまして、登録制度を設けておるといようなことです。

それから、先ほど区長さんおっしゃいました普通の植え方ですと、5年以上やっぱり収穫するまでにかかるんですけど、最近流行っているのがジョイント栽培といいまして、松崎の駅の裏に白い網をかけた団地が完成しましたね。あそこちょっと見てもらえば一番よく分かるんですけど、梨の木を縦にずっと繋げてそこからムカデの足のように両側にずっと枝を取って行って、そういう栽培をすると、私も実際やってるんですけど、3年目ぐらいから収穫が始まりだします。同じ面積を栽培しても、その栽培の方が従来の植え方より収量も上がりますし、県が推奨しているというような状況もありますので、またそういったことも取り入れていただいて、新しく始められる方はそういった栽培方法を取り入れられるというような、JAの方も果実部を中心にそういった指導をしておりますので、また興味がある方は相談してみただいたらという思いであります。回答になるか分かりませんが、そういうような状況です。

○浜中議会運営委員会委員長 よろしいでしょうか。その他皆さんの方で。ちょっと待ってくださいね、マイクが行きます。

○住民 この会場は東郷地区だということなんですけども、私が日程的に13日、14日と出れなかったもんですから来させていただきました。

まず初めに、この会の招集の仕方についてまずお聞きします。今週の6日、7日、8日ちょっといなかったもんですから、その間におそらくこの案内が来たと思います。私に案内をいただいたのは、おそらく私がJAの理事をしておるとい立場で案内いただいたんじゃないかなと思っておりますけども、そういう立場を持って、ち

よっと質問させていただきたいと思うんですけども、まずこの案内が遅すぎるんじゃないかと思います。これは、結局私も今日認識を持たずに来てしまってるんですけどね。今日見てる中で、やっぱり年配者の方が多いんですよ。これやっぱり夜空いてる、いつも空いとるんですけどねそりゃ。若い方は来れないと思います、この時間帯に。勤め持ってて、この文書が私の場合、その4、5日前に来とりますよね。そういう中では来れないんじゃないかと思うんですよ。だからこういう結果になってるんじゃないかというふうに私は思います。その辺の見解をまず1つお願いしたいと思います。

それから私も先ほど言いましたように、農業の関係で出させていただいておりますけども、さっきのあの質問の中で梨園のことが出ましたけども、私は梨に関しては、確かに東郷の良い場所に優良生産者がかつては作っておられたと思いますけども、このいい場所っていうのは、実は若い人には、これ非常に農業するにはね、消毒であったり収穫作業であったり、傾斜面のしかも山の中で、いい場所とは言ってもね、今そんな苦勞する若い人が参入しないと思います。農業に。

やっぱりこれは今駅南団地って作ってありますけどね、ああいうスタイルで、梨園を平地で作業がしやすい団地を推進していかなくちゃ、とてもじゃないけども、このいい梨園を継がせましょうとか、私の息子もやる気全くありませんからね。カッパ着て消毒するなんてお父さん、誰がするだなんていうような言い方してますもんね。今やSSに乗って涼しい中で消毒しとるなんていうのは当たり前のIT農業ですよ。磯江さんあたり特によくご存じだと思いますけど。

そういうことをやっぱり進めていかんと、湯梨浜町の後継者は育たないと思いますし、新規就農を呼び込むにも、せっかくの二十世紀梨の産地であったりブドウの産地であったり、かつてはイチゴ、スイカの産地でもありましたけど、どんどん衰退してしまとるんですけども。ですから私、産業振興課って本当に役場にあるんですけど、産業課ならいいけど振興課で振興していますかって言いたいぐらいの思いをしておりますよ。北栄、琴浦。土地が良いって言えばそれまでかもしれませんがね、そういった中で、農業振興っていうのをやっぱり町が主導してそういう団地を作って、それを貸し出すっていうスタイルをぜひ拡大してほしいなというふうに思っております。

ですから、最初の一点は、質問じゃありませんけど一点、招集の仕方はこれでいいというふうに思っておられるのかちょっとお聞かせください。以上です。

○河田議長 局長、ちょっと確認ですけど、この案内の文書というのはいつ頃出されたか分かりますか。

○杉原議会事務局長 月曜日、6日になってしまったと思います。

○河田議長 やっぱりちょっと遅いと思いますね。おっしゃるとおりだと思います。今後気をつけて、もう少し早めに出すようにしたいと思います。

今年も開くかどうかというのを検討する段階で、準備が遅れてしまったということもございまして、案内を出すのが結果的に遅くなってしまったということもございまして、以後は気をつけてまた早めに出してまいりたいと思いますので、この度は誠に申し訳ありませんでした。

○住民 若い方に来ていただくことを、議長さん。集め方を考えていただきたいなと思います。

○河田議長 分かりました。貴重なご意見ありがとうございます。湯梨浜の議会だよりが月末に配られておりますが、その中にも皆さんの声をお聞かせくださいということで、日程は載せておったんですけど、なかなか全員の方はこちらを見ておられない方も多かったと思いますので、以後気をつけたいと思います。一応周知という形では載せておりました。

それから梨団地の件なんですけど、実はこの駅南の梨団地に次ぐ2つ目の団地の計画がございまして、場所では北福と今滝の間の田んぼを造成しまして、ちょっとごめんなさい、細かい数字は覚えてませんが、駅南の梨団地のパート2みたいな形で9戸の農家さんが今、手挙げられておるのですかね。そういった形で、駅の裏と同じような団地、果実部が貸し出して農家に入っていくというような段取りを進めておまして、3.5ヘクタールということで今現在計画が進んでおります。

というような計画がございまして、やっぱりおっしゃいますように、本当に美味しい梨っていうのは真砂土の傾斜の畑が美味しい梨が取れるということで昔から本当に上から梨が落ちれば下まで転がり落ちるような梨畑作っておられたんですけど、なかなか維持管理が大変ということで、今、使われなくなった田んぼを造成したりして平らなところに降りてきておられるというようなのが現状でございまして、やっぱり奥の方から奥の方から梨畑が減ってきているような現状ですが、そういった形でまた造成工事をして梨畑を貸し出すような形で、今現在事業が進んでおるようです。3億2,700万円の事業費をかけて3.5ヘクタール、今造成計画が進行しておるところでございまして。以上でございまして。

○浜中議会運営委員会委員長 その他、皆さんのほうで、はい。

○住民 真剣な議論されてるところちょっと申し訳ないんですけども、興味本位で聞くんですけども、羽衣さんの跡地。あれについて町で何か情報を持っておられるでしょうか。

それともう1つは、燕趙園の多目的広場の使用状況が何か変わるとか何かそういう噂も聞いたことがあるんですが、それについても何か情報あるでしょうか。

羽衣については町政には直接関係ない、また民有地のことですので、言いにくいことだと思うんですが、噂も聞くんで、情報があれば、例えば建築確認の申請があったとか、何かそういうことがあったらちょっと教えていただきたいと思います。

○河田議長 羽衣の跡地の件ですが、県外の大手の会社がちょっと興味を持っておられるみたい。あくまでも検討ということですので、話が独り歩きしないようお願いしたいんですけど。それによって地元の温泉旅館もひっくるめて、盛り上がっていきましようっていうような計画があるようです。それが羽衣の跡地の件でございます。

○住民 今現在も解体されておりますわね。だからもうだいが決まってるんじゃないでしょうかそれは。

○河田議長 まだそこまで詳しい細かい報告がまだございませんので。また報告がございましたらお伝えしていきたいと思いますが。

○住民 はい、分かりました。あと燕趙園の使用目的とか使用状況について何か変わるとかというような話も聞いたことがあるんですが、県の関係だと思うんですが、その辺は何かご存じでしょうか。

○河田議長 すいません、私たちの耳にまだごめんなさい、届いておりませんが、どういったお話を聞いておられますか。

○住民 そこで例えばグラウンド・ゴルフやら多目的広場をやめて何かを作るとか、そういうお話もちらっと聞いたことがあるんですけども、それはもうガセネタですか。全然ご存じないですか。

○河田議長 そうですね、全然議会の方には何も伝わっておりませんので、こちらも何かまた分かりましたら、ご報告をしたいと思いますが。

○住民 はい、ありがとうございます。

○浜中議会運営委員会委員長 その他、皆さんのほうでございますか。何でもいいです。

○住民 先ほど若い方の出席をっていうことでご意見いただきまして、多分この中では私が一番若いかなと思えて、発言をさせてください。

別所では、ちょっと今問題が執行部の中である話題として高齢化が進んできております、別所は特に。元気なうちは全然大丈夫なんですけども、独居になられて支援が必要で、1人でよう歩いて出ないとかいう方もちらほら見られてきておりまして、そういった方の支援をどうしていくかっていうのをちょっと村の中の執行部でも話を進め始めているところです。

昨今、関金等でもスーパーが全部なくなったりとかして、買い物であったりとか、あとは日々のごみ出しとかっていうところも、当然自分でできなければ共助、周りで助け合ってそれできなければ公助って順番っていうのは十分認識した上でのことなんですけども、もし仮に、村の中でもいろいろこれから話し合っていくんですけども、例えばごみの収集等でもそういう自分でも歩行がなかなか難しいような方に限って、家の前で収集してもらえるような、何かそういう特別な支援等がしていただければありがたいなということで一つ検討まではですけど、うちの村の中でもまだどうしていくかってのも決まってない状態なので、その辺りもちょっと念頭に置いていただければありがたいということで、ご意見を言わせていただきます。

あと2点、これは提言といいますか、応援に近いかなと思うんですけども、北溟中の先ほど跡地のことで腰を据えられて、じっくり検討されるっていうことでご説明いただきました。私もぜひそうしていただきたいと思っております。

やはり湯梨浜町にとって雇用っていうのはとても大事だと思います。若い方がやっぱり住まれると、人口増えますし、やはり雇用の場がないと若い方はどんどん逃げていきますんで、そういったところも見据えて、やはり早々に結論を出されてすぐ撤退と、何かそういうことがあるよりは、しっかり企業さんを見ていただいて、未永く湯梨浜町で雇用を生んでもらえる方が来ていただけると嬉しいなと思って先ほどお話を聞かせていただきました。

もう1点、児童クラブの支援員さんの待遇のことについてもお話が出ておりまして、私も子ども児童クラブの方にお世話になっております。やはり共働きですので、子どもの面倒見ていただけるっていうのはすごいありがたいくて、それで支援員さんがもし負担に感じられて辞めてしまわれると我々もちょっと困ってくるので、やはりそこら辺は支援員さんに寄り添っていただけるような対策を講じていただければ、子を

持つ親としてもありがたいので、その辺り検討を加速させていただければと思います。長々とすいません、ありがとうございました。

○河田議長 はい、ありがとうございました。私の地元の区長でして、実は先日の別所の10年後を考える会っていうような会を今年の役員さん思いつかれて、それで5人が意見を発表して、あと参加しておられる方が普段思っておられることを収集したような話の中でそういった話も出てきまして、今足の不自由な方の家は隣の集落の民生委員さんが来られて、ごみ出しをしておられるっていうような話を聞きまして、そこまで頼っていいんだろうかどうだろうかっていうような意見もあった中での区長の発言だったと思います。これもできるかできないか、持ち帰りまして担当課の方とですね、協議をしてみたいと思います。本当に別所だけに限らず、そういった方が他の集落にもおられるかも分かりませんので、なるべく負担にならないようにできることをやっていきたいと思いますので、持ち帰って検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから、北溟中の跡地ですね。こちらもいろいろ話が水面下であるようです。おっしゃいましたように、焦って決めてしまわずに、進めていくよう担当課も十分配慮しておるようです。今朝の新聞でしたかね、フィギュアの工場が新しくできて、また雇用が何百人かあるっていうようなことで、新聞に載ってましたが、そういうのでも利用してもらったら倉吉でなくて湯梨浜のあそこが空いとったりとか思いながら、個人的に思ったんですけど。そういったようなことで、なるべくそういった地元雇用できるような企業が来ていただければ良いかなというふうに思っておりますので、この提言も担当課にはまた改めて伝えておきたいと思います。

それから放課後の児童クラブですね。

○米田教育民生常任委員会委員長 民間委託になるときに議会からも今まで勤めた方は、なるべく雇用をしてくれっていうことと、報酬の方も実際あまり大きな声では言えないですけどということで、他のところよりは湯梨浜の方が報酬は高いですね。ということもあります。

おっしゃったように支援員さんが辞められるってことがないようにということで、民間になって今までと変わってるところが、研修をしっかりされていて、支援員さんも今まで勤めてる中で、やりがいを持ってやっておられる方が増えてっていうことを聞いております。

やはり賃金だけじゃなくて、やってやりがいがあるってことはすごく仕事を続けていくモチベーションが高くなることだと思いますし、今までは各児童クラブには責任者がいなかったんですけれど、今はちゃんと1人責任者を置いて、その方にはそれなりの手当もあるってような形で、そういう部分では以前よりは進んできておるんですけれど、おっしゃるように先ほど〇〇さんからもあったんですけれど、より良い放課後児童クラブになるように議会としても連携しながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○河田議長 ちょっと補足しますと、リーダーが支援の中におられて、今までは直接支援員各自が担当課等にいろいろ意見を言うような仕組みになってたんですけど、なかなか言いにくいということで、細かいことをリーダーの方が聞いて、それを担当課、それから委託してる会社に伝えていくというような仕組みがしっかりできたようですから、支援員さんの困っておられることですか、不都合なことはちゃんと伝わるような仕組み作りができておりますので、それを継続していただきたいと思っております。すいません、補足でした。ちょっと時間が経過しました。

○浜中議会運営委員会委員長 まだありますか。もしあれば、最後になりますけど、どうぞはい。

○住民 すいません、ちょっと時間いただいてよろしいですか。私子育て支援の話ばかりになっちゃうのでね、ちょっと申し訳ないような気がするんですけど、よろしいですか、すいません。

1点目は保育士不足の解消についてってということで、常態化しております、やっぱり現場が大変な状態があるようで、パートの先生が掛け持ちしたり、子育て支援課の支援員さんが、応援に行ったりとかいろいろ、それから今年から副園長が担任制になってフリーが担任制になっちゃいましたし、ということでいろいろ頑張っておられますけど、やっぱりこれもうずっと前から常態化してるっていうのが、それで琴浦の場合は報道にもあったように、この職場の魅力化ですね。やっぱり問題点を出して、やっぱり抜本的に解決していかないと、これ解消しないんじゃないかってことでいろいろ外部から検討される人呼んでね、されるそうです。琴浦はとてたくさん辞められたそうでしたよね。危機感を持っておられる。でも湯梨浜でも辞められるんですよ、結構ね。希望を持って働いてても、途中でくじける方が結構おられまして、やっぱりそういう問題点がどこが一体問題があるのかなっていうことをやっぱり抜本的

にやっていかないと、やっぱり学校なんか働き方改革って一生懸命頑張っておられるし、やっぱりこども園もそういう形でやっていかないといけないんですけど。

1つ私がいつも思ってるのは、あのニチイキッズさんがありますよね。あれは0歳から2歳の未満児のところですけども、あそこの運営の仕方っていうのが素晴らしいところがあって、というのは私、園長先生とよくお話するんですけどね。保育士不足ってのはないって言われます。それで誰も不満を持って働いてないってはっきり言われるんですよ、自信を持ってね。それでそのやり方っていうんですかね、お話の中でいろいろヒントをいただくことがたくさんあるんですよ。保育所運営のやり方で。

そこら辺を町の方も議員さん方も一度園長先生ってかニチイさんのやり方もちょっと検討されたらどうかなって、何かヒントになるんじゃないかなってことをいつも思っておりますね。それは民間と町立の違いはあるにしても。やっぱり職員研修のやり方とか、先生方のやる気モチベーションを上げるにはどういうふうにしたらいかっていう研修とか、素晴らしいところがありましてね。やっぱりそういうところを見習ったらどうかなって思いです。町立も頑張っておられますよ、だけでもそういうところもちょっと刺激になるんじゃないかって、何かヒントになるんじゃないかなっていつも思っております。

それから2点目は、もう行政の方もそういう気持ちがないんでしょうけど、子育て支援の拠点化ってことがやっぱり必要じゃないかなってずっと思ってましたけど、ちょっと無理なようですけどあえて言わしてもらいますけど、三朝町と琴浦町は今度こども家庭センターといって、ネウボラと包括センターと子ども家庭総合支援拠点っていうのを一緒にした、こども家庭センターってのを作っていくっていう、拠点を作っていくっていう方向性があるようでして、やっぱり中部でもそういう動きがある中で、やっぱり湯梨浜もそういうことを目指して行ってほしいなっていうのは私の希望ですけれども。

やっぱり子育て支援というのは一番大事なのは、お母さん方の相談事業なんですよ。子育て不安のお母さん方に寄り添う相談事業が、やっぱりそういうところが必要なんですよ、一番大事なのはそこなんです。事業ではなくて、そういう寄り添うところが欲しい、拠点が欲しい、場所が欲しい、居場所が欲しいっていうところがあると思いますので、やっぱり無理とは思ってもそういうことを言わしてもらおうのって一つ。

もう一つ拠点化っていうのは、子育て支援センターがすごく狭いんですよ。今の支援センターは。お母さん方は子どもさんを家で育児しながら、やっぱりちょっと気持ちを解放していきたいっていうかね、リラックスしたいから子どもを遊ばせながら自分がくつろぎたいっていうので支援センターに来られるんですけど、そのお母さんたちのくつろぐ場所ってのが狭いです。それからイベントしたって本当に狭いし、畳の部屋もないという状況で、これをもうちょっと充実させて、支援センターってのをやっぱりもっとお母さんや子どもたちがくつろぐ場所にしてほしいなっていうことで、一つ拠点化が欲しいっていうのはそこなんですけどね。無理と言いながらも何回も言わせてもらっております。

もう一つは産後ケア事業のことですけれども中森さんが議会で質問されましたけども、やっぱり町としては産後ケアっていうのはちょっと難しいということをおっしゃられますけれども、やっぱり取り組みでほしいんですよ。それでそれが無理だから、先ほど言われた育児サークルの「くぷくぷ」っていうのが立ち上がったわけですよ。自前でしようっていうことで育児サークルで。自分たちでそういう育児産後ケア事業的なことをしていこうということで始まったわけですけど、これも本当は子育て支援の管轄なのに、これは教育委員会の管轄になって、家庭教育支援の補助金をもらってやっておられて、家庭教育支援チームっていう形になってるんですけど、本当は子育て支援の関係なんだと思いますけれども。

それで宣伝をさせていただきますけれども、明日すいません中森議員さんはお世話になってますけど、児童虐待のワークショップがありますんで、一応、ここで宣伝させてもらって自分たちが立ち上げた会ですので、結局行政が立ち上げたわけじゃない。自分たちで子育て中のお母さん方が自分たちのために、立ち上げた会などでこういう会をやっぱりこういう活動を支援してってほしいわけです。もっと広げて、拡充してほしいなということで、明日アロハホールの1時半から会がありますので、CAPおとなワークショップっていうんですか、子ども児童虐待の防止の会をされるようです。それでたくさん来てほしいなっていうことがあるようですので、よろしくお願いいたします。以上です、すいません。

○米田教育民生常任委員会委員長 拠点のことはもうずっと言っていたかまして、実際になかなか進まないんですけど、この前教育民生常任委員会で視察行ったところ、岐阜の多治見市っていうところに行ってきたんですけど、そこでは、そういう関係する課が1か所にずっとそろってましてね。皆さんが小さいときから大きくなる

まで馴染みのある職員の方がおられるということで、相談に行きやすいつていうような声も聞いてきましたんで、こういうことは進めていくべきじゃないかなと私自身は思っておりますけれど、そういう声はしっかり受け止めていきたいなと思います。ありがとうございます。

○浜中議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございます。その他ありますか。時間も過ぎております。まだまだこれからいろいろあるわいやと言われるような顔をされておりますが、時間の都合上、ここで終わりたいと思います。

まだまだ言いたいことがある方は、また13日は泊の方から、また14日には羽合、役場の別館の講堂で行いますので、そちらに来ていただいて発言されてもよろしいですし、この交換会の資料の13ページですね、今日よう言わなんだけど、いろいろ考えとるけ、ここに書いていただいて後日提出いただいても結構ですので、またよろしくお願ひしたいと思います。そうしますと、ここで閉会の挨拶を副議長の方よろしくお願ひします。

○磯江副議長 本日は本当に、貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございます。常任委員会からの報告に対する質問だけでなく、各方面からいろいろご意見をいただきまして本当にありがとうございました。

我々議会も全国、先ほど言いましたけど、1,718自治体にやっぱりいいところはたくさんあるんですね。そのいいところをどのようにこの湯梨浜町に持ってくるかということで、真剣に討議しております。

ある議会では女性が過半数の議会もございます。そしてそういう議会に行ってみると、やはりいろんな幅の広い意見が出てくると、とかくやっぱり男性ばかりのところだと執行部が言ったことに対してっていう形の意見になりやすいんですけども、いろんな意見が幅広く出てくるっていう意味では、やはり女性議員をもっと増やす方法を我々も考えないといけないと。同じようにこの度の選挙で中森さんと小川さん、30代、40代の方が出ていただいて、年齢を少し下がりましたが、やっぱり全体は少し高すぎるということで、どうしてもこの議会が硬くなってしまふんで、女性を、若者をついていう形で我々も努めてそして皆さんの意見がもっと町政の中に生かされるように、議会としても努力していきたいというふうに思っております。

今日は長時間にわたりまして、貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。